

宇部ロータリークラブの誕生

本日7月10日は宇部ロータリークラブの創立の日になっていますので、そのお話をしたいと思います。

宇部ロータリークラブは、山口ロータリークラブの支援によって、新町にありました旧宇部商工会議所会館において創立総会が開催され、1956年（昭和31年）7月10日に発足しました。チャーターメンバーは37名で、山口、下関、徳山に次いで県下4番目クラブでありました。

まず設立以前の経緯は、1935年（昭和10年）頃、大阪クラブの当時の会長村田省蔵氏（大阪商船社長）や他の方から国吉省三氏（当時宇部窒素工業常務）・俵田明氏等に宇部にもロータリークラブをつくってはどうかという勧誘がありましたが、成立を見るに至らず、その後1955年（昭和30年）頃になって山口ロータリークラブの菅 博太郎副会長（山口県信用保証協会専務理事）及び福岡ロータリークラブの松田昌平氏（松田建設事務所）がたびたび来宇され、宇部興産の幹部や新光産業の古谷博美氏、小野田セメントの森 清治氏、宇部ソーダの安近勲治氏及び国吉省三氏等と話し合いが重ねられて発足の段取りが整えられつつありました。

漸く1956年（昭和31年）に至って7月10日旧商工会議所におきまして宇部ロータリークラブの創立総会が開催され、俵田明氏、中安閑一氏、岡田完二郎氏、国吉省三氏、安近勲治氏、古谷博美氏、田中太郎氏の7名の理事を選出し、会長俵田 明、副会長中安閑一氏、幹事国吉省三氏、副幹事兼会場監督弘永努氏、会計藤部祐雄氏の役員を中心に37名のチャーターメンバーに2名の名誉会員を加え、39名で発足しました。

会則によりクラブの地域を「宇部市とその周辺」として小野田市が含まれていました。例会日はその時から毎週木曜日、入会金は1万円、会費は2万円と決定されました。

これ以来7月10日が宇部ロータリークラブの創立記念日となっています。

その時は仮クラブとして結成されたのですが、国際ロータリーに加盟承認の手続きを申請したのですが、3か月を経た9月になってもまだ承認が得られませんでした。しかし、漸く10月24日になって国際ロータリーへの加盟が理事会で認められました。

このように宇部ロータリーの設立までには先輩会員の並々ならない努力があったようです。

当時我が国のロータリークラブは4地区で192のロータリー・クラブがあ

り、会員数は9, 707名でありました。

それが現在では、クラブ数2, 290 会員数88, 473人になっています。

俵田初代会長は、創立総会において次の4つの方針を会員に示して、自らも実践されたそうです。

1. ロータリー精神の徹底に努めること。
2. 健康を通じて強健なロータリー精神を発揮せよ。
3. 社会奉仕の実践を通じて、明朗な郷土社会の建設に貢献せよ。
4. ロータリアンの誇りを四つのテストの上に見いだせ。

というものでした。

この第3項につきましては、「我が郷土は先人の努力によって、かつては精神都市だと言われており、この美風の再建に努めることは当然であるが、ロータリー精神を社会奉仕の理想に向かって遺憾なく発揮し、その実践に邁進しよう」という当クラブ独特の活動方針となったものであります。

当クラブの組織上の位置は、広島県、山口県の両県を包括する第2710地区に所属しています。

1977年（昭和52年）以前は中国5県が第369地区でありましたが、1977年に地区編成替えにより山口・広島2県が一地区になりました。

現在、第2710地区は、クラブ数74、会員数3, 279名で組織されています。

2年後には宇部ロータリークラブは誕生から60年になります。

その時に記念式典が開催されますのでよろしくお願ひします。

本日は宇部ロータリークラブの誕生のお話をさせて頂きました。